

ウミガメ採卵保護を行いました

高知市春野町戸原 平成28年5月30日（月）

- 高知海岸では5月中旬から8月にアカウミガメの上陸・産卵が見られます。
- 5月30日、高知市立春野東小学校の4年生が、戸原工区にアカウミガメの採卵見学に来ました。ウミガメの保護活動をしている春野の自然を守る会の熊沢さんが採卵します。



●採卵会の前にみんなで海岸清掃をしてくれました。



●みんなで協力してたくさんのゴミが集まりました！
キレイになった海岸へアカウミガメがたくさん産卵に来てくれるといいですね。



●いよいよ採卵開始です。慎重に砂を掘っていきます。



●卵が見つかりとみんなで数を数えます。平均の直径40mm、重さ35gの大きい卵を採卵しました。

熊沢さん「産まれたばかりの卵の殻は柔らかいので、優しく持ってあげてください。」
1人1人直接手にとって感触を確かめます。

●採卵途中で割れた卵を発見。

「卵の中身はニワトリの卵と変わらんね」と、みんな興味深く卵に触れていました。



●春野東小学校は139個の卵を採卵しました。

採卵した卵は小学校のふ化場に移設をします。卵は2ヶ月くらいでふ化します。

●4年生のみなさんは、これからふ化場の水やりや温度計測など大変ですが、産まれてくる子ガメの誕生を楽しみに学習を続けてください。

そして夏休みの放流会までのお世話を頑張ってください。